

11月25日 土

笑いで一生医者知らず、 支え合い講演会開催

自主企画事業/高齢者福祉部

FMラジオパーソナリティや司会、お笑いステージなど各イベントへ多数出演し、市内で介護福祉施設を運営する高野大樹さんを招き、「だいちゃんの日も元気」と題し支えあい講演会が開かれ、約40名が参加しました。



当日は椅子に座って簡単な体操や、歌を歌ったりした他、大ちゃんの話を聞くなどし、軽妙な話術に参加者は始終大笑い。あっという間に予定の1時間が過ぎていました。

講師の大ちゃんは「笑えば一生医者知らず」これが一番大事」と力説。「明るく楽しく過ごす人、生きがい・喜びを感じる人、役割をもって生きる人は「幸齢者」、みなさん幸齢者になりましょう」と語りかけていました。

参加した人は、「沢山笑った。楽しい時間だった。最近あまり出かけることがなかったが、出かけることは大事だと思った」などと感想を述べていました。

11月26日 日

カカオ豆から チョコレートを作ってみよう

自主企画事業/子育て部、協力・出東mama塾

坂田に工房を構えるラ・ショコラトリ・ナナイロの店長・西森さんと山根さんを講師に「ナナイロさんのチョコレート教室」がコミセンを会場に行われ、小学生の親子14組がチョコレート作り挑戦しました。

前半は、座学でカカオ豆からチョコレートが仕上がるまでの工程をクイズ形式で楽しく学び、後半では実際にカカオ豆の殻むきから石臼ですりつぶしなめらかにする伝統的な手法コンチングや、その後の成形までを実際に体験しました。

カカオ豆から徐々にチョコレートに仕上がると、調理室の中は香ばしく甘い香りにつつまれ、参加した親子は「幸せな気分になった。カカオ豆からチョコレートが出来るのが不思議だった」と満足そうに話していました。



2023年12月15日発行

アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

1月号
2023.12

●世帯数1,270戸
●人口3,861人
男性/1,899人 女性/1,962人
令和5年11月30日現在

コロナ前の賑わいに

出東地区文化祭

11月12日(日)、会場となった出東小学校には、あいにくの雨模様にもかかわらず約800人の人出で賑わい、普段コミセンで活動しているサークルの作品のほか、個人出展の川柳や絵画などの力作が目を見守られていました。

体育館では日頃の成果を披露しようと各団体の熱演が繰り広げられ、特別出演の大社高校ダンス部や出雲北陵高校吹奏楽部のマーチングドリル、そしてフィナーレの餅まき・お菓子まきには、会場を埋め尽くすほどの観客が詰めかけ熱気に包まれていました。



1月 出東地区 行事予定

- 5日(金) 新春書初め会
- 9日(火) 斐川東中学校始業式 / 出東小学校始業式
- 18日(木) コミセン喫茶 虹教室(3年生以上)
- 19日(金) コミセン文書配布
- 20日(土) 住まいの終活セミナー
- 21日(日) インドアYUKIGASSEN
- 22日(月) メディアと上手につきあうウィーク(28日まで)
- 24日(水) 虹教室(1・2年生)
- 10日~31日の毎週水曜日、あいさつ運動

年末年始 休館のお知らせ

INFORMATION 2023.12/29(金)~2024.1/3(水)
12月29日(金)から翌年1月3日(水)までの6日間、出東コミュニティセンターは休館となります。ご不便をおかけしますがご了承をお願いします。

●年末12月30日出、31日日のリサイクルステーションは休止となります。

The Voice

～皆さまからの声～
常会に出るようになって31年になりますが、常会で配布される資料に目を通す様になったのは最近です。それまでは常会の時にチラシと見て家に持って帰ってそのままでした。改めて配布資料を見ると、県、市、コミセンその他色々な機関から大量の情報を得ることが出来ました。家族にも為になる情報が沢山あります。配布資料を家族で共有していければと思います。

●皆さんの声を募集しています!! (三分目 60代 男性)
ご寄付お礼
皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じ地域の福祉事業に活用させていただいております。
香典返し 金一封 大菅 誠二様(破下)
ご厚志誠にありがとうございました。

2年間の取組と成果を発表 出東地区人権・同和教育研究指定事業発表会開催

10月21日(土)、出東地区人権・同和教育研究指定事業発表会が出東小学校体育館で行われ、地区内外約150人が参加し、人権・同和教育の推進に取組んできた成果を広く発表しました。

令和4年度から2年間、出雲市から同和教育研究の事業指定を受け、出東地区人権・同和教育推進協議会(片山正美会長)を中心に地域を挙げてさまざまな活動や取組を行ってきたもので、当日はその成果をスクリーンを使いながら紹介していききました。

これを受け出雲市人権同和政策課春日指導員から、コロナ禍でも事業が実施できた要因について「組織体制、地域支援体制など効果的に運用・調整された結果」だと評価があった一方、課題として「①子どものための思い、親の心を押しつけないこと ②自治会やPTAの学校研修をより多くの人が参加するよう工夫が必要なこと」などと助言がありました。

第二部では、徳島県出身の中倉茂樹氏による「ぬくもりを感じて」と題した記念講演が行われ、自分が受けたつらい差別経験や同和問題について、エネルギーに明るく話していただきました。



片山会長は「本大会を機にさらに学習を深め、住みよい出東を目指して活動していきたい」と力強く語っていました。

研究指定事業では、出東地区自治協会や地区社会福祉協議会をはじめ、出東地区の多くの団体、企業、地域の方々のご理解とご協力をいただき誠に有難うございました。本年度末まで指定事業は継続いたしますが、発表大会は無事終了することが出来ました。厚くお礼申し上げます。

出東地区人権・同和教育推進協議会 会長 片山 正美

ご協力ください

使用済みカイロ回収BOXを設置しました☆

出雲市環境保全連合会出東支部では、来年2月末までの期間、不要になったカイロの回収を出東コミュニティセンターで行っています。



集めたカイロはGoGreenGroup(本社:大阪市)へ送り場で加工され、ヘドロを分解したり薬の混ざった水をきれいにするキューブに生まれ変わります。使用済みの使い捨てカイロ、使用期限切れのカイロでもOKです。皆様のご協力をお願い致します。

編物クラブ

編みあげる楽しみと 会話が楽しみ



自宅で編んでわからない点や新作にチャレンジする時に講師の先生にクラブで教えてもらいながら編み上げます。現在メンバーは3人で、月1回(第1月曜日の午前中)の活動は、もっばらお茶を囲んでの編物の話や家庭の話が中心です。手編みのベストや長袖のカーディガンなど素敵な作品に段々と仕上がっていくのが楽しみです。毎年文化祭に作品を出展し、皆さんに見てもらうことも励みになります。会費は月1,000円、材料代は実費。

一緒に編物を楽しむメンバーを募集しています。興味がある方はコミセンまでお問い合わせを。

9月9日 土

心と体の健康教室 春雨や落雷さんの “お達者落語会”

自主企画事業/健康推進部



出東地区健康づくりの会、出東地区社会福祉協議会の共催で「春雨や落雷さんのお達者落語会」を開催し、53名の参加がありました。

第一部は「江戸古典落語」、第二部は「健康講話」で構成。講演会は「笑って免疫力を高め、病気に打ち勝ちましょう」のタイトルの通り「笑い」の大切さを出雲弁を交えた軽妙な話術で説明し、集会室は終始笑いで包まれていました。

10月7日 土

小学校花植え活動に参加

出東小学校PTA・コミセン環境部

小学校PTA家庭教育部の親子花植え活動にコミセン環境部から8名が参加し、一緒に小学校の花壇の花植作業を行いました。



キンギョソウやピオラなど、色とりどりの花を、先生や保護者、子どもたちが一緒に一株ずつ丁寧に植えていました。真ん中の丸い花壇には、昨年と同様、黄色と紫色のピオラをニコちゃんマークになるように配置。植えた時点では、まだ花が小さくニコちゃんマークには見えませんが、11月中旬頃にはきっと、真ん中の花壇に大きな笑顔が現れることでしょう。小学校にニコニコ笑顔が広がりますように。

9月20日 水

しまね海洋館アクアスへ、 生き生き一日研修

自主企画事業/高齢者福祉部



シルバーウィークにあわせて、しまね海洋館アクアスに出掛けました。車中ではスタッフを含め過去最高の40名の参加者が、歴史に詳しい佐藤部長より、赤穂浪士の生き残り寺坂右衛門の墓所について、プチ歴史講座を受けてからの出発となりました。

2時間ほどバスに揺られ、昼食後、目的地アクアスへ移動。まずはキラキラ輝くイワシや妖艶なクラゲに魅せられ、水槽内を悠々と泳ぎまわる大きなウミガメに驚き、最後に可愛らしいシロイルカのショーに心を躍らせ…あっという間に時間が過ぎました。参加した人たちは「久しぶりに顔を見て、話に花が咲いた」「なかなか遠くで自分では来ることができなかったが、連れて来てもらえてよかった」「足が痛いけど思い切って参加してよかった」などと大満足の様子で、楽しい一日となりました。

10月14日 土

秋晴れの中、爽快にウォーク

自主企画事業/健康推進部



好天に恵まれた絶好のウォーキング日和の中、出東地区健康づくりの会、出東小PTA保体部共催で健康ウォークが行われました。大人から子どもまで123名が参加し、出東コミュニティセンターから沖洲天満宮、第一体育館を経由し、帰路は旧一畑街道の5.4kmの距離を歩きました。

見慣れた景色ですが、みんなで歩くとまた違って楽しいとスマホで写真を撮ったり隣の人と談笑したりと、それぞれウォーキングを楽しんでいました。交通量の多い交差点もいくつかありましたが、立哨役のPTA保体部の協力で安心して歩くことが出来ました。第一体育館の外庭では昨年恒例のしじみ争奪戦〇×クイズをして盛り上がっていました。

11月1日 水

発電所規模の大きさに圧巻!

自主企画事業/環境部

環境視察研修として、昨年11月に2号機が完成した浜田市の三隅発電所に出掛け、国内最大級の石炭火力発電所を見学しました。

当日は、環境部のメンバー8名と応募のあった19名の合計27名が参加。バスの車窓から発電所を間近に望むと、200mもの高さの煙突を前にみない様に驚いた様子で見上げていました。

施設内ではじめに概要説明を受け、最大200万kwは山陰両県の電力をカバーするほどの出力であること、火力発電が電源の安定供給のための主要な役割を持っていること、CO2排出量を抑えるための世界最高水準の環境設備を導入していること、また県内の間伐材を利用した木質バイオマスを

混焼し、地域問題にも向き合った発電所を目指していることなどを学びました。

その後、実際に巨大なタービン発電機などを見学し、高さ80mの屋上で各施設の説明を受けました。参加した女性は「設備のスケールの大きさに圧巻した。想像以上に施設内がきれいで驚いた」と話していました。

帰路、石正美術館を訪れ、三隅町出身の日本画家石正の作品に触れ、石見路を後にしました。



11月20日 月

石見銀山を ゆっくりと 散策

自主企画事業/健康推進部

秋の清々しい空気を感じながら石見銀山を歩いて巡る「お出かけウォーク」が開催され、当日はスタッフを含む36名が参加しました。コミセンから現地までバスで移動し、午前中は自然のなか紅葉を楽しみながら約2.6kmの銀山コースを、午後からは古い町並みを散策する約1kmのコースを秋の深まりを肌で感じながら気持ちよく歩いていました。

参加した一人は「歩けるか不安だったけど、町並みを見ながら歩くことで健康づくりができた」と感想を述べていました。爽やかな汗を流し、会話の弾むウォークとなりました。



11月24日 金

青パト連絡会 を開催

出東子どもの安全を守る会



小中学生の下校時などに地区内の見守り活動を展開している出東地区青パト隊の連絡会が行われました。常松会長のあいさつの後、斐川交番石本巡査より、管内で声掛け事案が発生していることや青パト巡回時の注意点などの説明があり、参加した10名の隊員は熱心にメモを取っていました。その後、地区内の交通危険ポイントなどの情報交換や、新たな隊員の呼び込み・募集について話し合わせ、積極的に意見が交わされました。

新規青パト隊員募集!

出東子どもの安全を守る会では、新規青パト隊員を随時募集しています。自動車の運転ができる方で、その他特に資格など必要ありません。買い物や会社の帰り時間などだけの活動も可能です。地域の子どもの見守りや防犯活動にご協力いただける方は、コミセンまでお気軽にお問い合わせください。



地域のために頑張ってます!!

地域の子どものために、
多くのボランティアに支えられる
虹教室



令和4年から始めた虹教室(放課後子ども教室)です。今年度の虹教室は、1,2年生25名、3年生以上32名、地域の方の協力で行っています。

子どもたちは、学校が終わると、元気な声でコミセンにやってきました。

宿題をしたり、将棋やパズル、プラバンなどそれぞれやりたいことを見つけて楽しめます。軽食タイムは、キッチンサポーターさん手作りの食事やおやつは子どもたちの楽しみのひとつです。虹教室は放課後、友だちとの楽しい居場所になっています。



おじゃまします 出東のお仕事拝見!

チョコレートへのこだわりと愛情がカタチとなって La chocolaterie NANAIRO

印象的な建物の店内に一歩足を踏み入ると、カカオ豆を焙煎する香ばしい香りに包まれ不思議と幸せな気分になる。スタジオやアリーナ、企業のプロモーションビデオなどの映像制作を手掛ける株式会社ナナイロ(大阪市北区)は、誘致企業として2011年坂田に島根支社を開設。15年には店長の西森亜矢さんが趣味で作っていたチョコレートのオンライン販売を手掛け、新たな事業をスタートした。その後、口コミなどで評判が広がり、社屋を増築し直販を開始。店名にラショコラトリ ナナイロを冠しカフェも併設した。

西森さんのチョコレート作りは、2010年頃アメリカ帰りの友人が手掛けていたことに触発され、神戸の専門店フェアトレードのカカオ豆を購入し始めたのがきっかけ。それ以来、アンチエイジングの効果など期待で

きる完全食品ともいべきカカオ豆の魅力に取りつかれ、自ら買い付け、選別、焙煎、テンパリング(チョコレートを溶かして固める作業)、成型、そして包装まで一貫して行っている。今では、ここでのチョコレートを求め広く中四国地方や東京から足を運ぶ人も多いという。西森さんは「島根・斐川のすばらしい景色と土地柄に触れ、地元をもっと盛り上げたい」と話す。地域活動にも理解を示し、小・中学校の社会科見学や職場体験の受け入れ、コミセン活動にも協力を惜しまない。

INFORMATION 株式会社ナナイロ(ラショコラトリ ナナイロ)
●斐川町坂田1934 ●TEL0853-25-7676 ●設立2003年 ●社員数13名

『喜見寺』 ●斐川町黒目 116

「遊宝山 喜見寺」の創建は応安2年(1369年)で当初は天台宗の寺であった。後に、この宗が絶えたため禅宗に改められた。現在は臨済宗南禅寺派で、初代住職は松江市本庄町の枕木山上にある「龍翔山 華蔵寺」より迎えている。本尊「延命地藏菩薩(石像)」は弘法大師の作と伝えられる。

- 本尊/延命地藏菩薩
- 住職/美多大宏(第17世)



▲二十原神社観音堂
本尊の延命地藏菩薩▶

本堂は度々火災により焼失。元禄14年(1701年)と明治32年(1899年)に再建の記録がある。現在の本堂は、八間(14.5m)に五間(9m)の木造瓦葺きである。

出東歴史散歩 Vol.7

また境内には月山富田城主・堀尾吉晴公の次女・小那姫を祀る廿原堤神社がある。由来には「姫は二十歳のころ婦人病にかかり、心配する両親の苦悩する姿に耐え切れず、自ら池に身を投げた。その時「わが御霊を祀る者あらば、婦人の病を平癒させん」と誓願した。村人が姫を慕いご加護を願い建立した神社は、その古くからの廿原神社と名付けられた」とある。喜見寺へは江戸時代に広瀬町の本社より勧請され、皮膚病その他、特に婦人病に靈験あらたかとして遠近より参拝者が訪れた。毎年8月19日の夜祭りには盆踊りや相撲などが催され、境内は多くの人で混雑したという。夜祭りは戦時中、一度途絶えたが、近年再び開催されるようになり、催し物や屋台などが多くの人で賑わう。

